

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2016年6月30日(30.06.2016)



(10) 国際公開番号

WO 2016/104273 A1

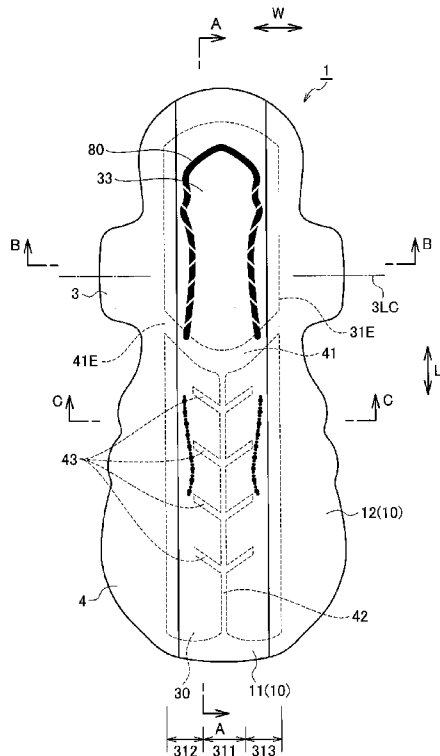
- (51) 国際特許分類:
A61F 13/15 (2006.01) A61F 13/53 (2006.01)
A61F 13/472 (2006.01) A61F 13/56 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2015/085188
- (22) 国際出願日: 2015年12月16日(16.12.2015)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2014-260741 2014年12月24日(24.12.2014) JP
- (71) 出願人: ユニ・チャーム株式会社 (UNICHARM CORPORATION) [JP/JP]; 〒7990111 愛媛県四国中央市金生町下分182番地 Ehime (JP).
- (72) 発明者: 西谷 和也 (NISHITANI, Kazuya); 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 木下 英之 (KINOSHITA, Hideyuki); 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田
- 浜1531-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP).
- (74) 代理人: フェリシテ特許業務法人(FELICITE PATENT PROFESSIONAL CORPORATION); 〒1050002 東京都港区愛宕二丁目5番1号 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨー

[続葉有]

(54) Title: ABSORPTIVE ARTICLE

(54) 発明の名称: 吸収性物品

[図1]



(57) Abstract: Provided is an absorbent article which fits the absorbent core to the crotch and buttocks of the wearer and which can suppress leaking. This absorbent article (1) comprises an excretion orifice contact region (S1) which faces towards the excretion orifice of the wearer, a rear region (S2) positioned to the rear of the excretion orifice contact region (S1), and an absorbent core (31) which is arranged in the excretion orifice contact region (S1) and the rear region (S2). In the rear region, a hip flap (4) is provided which, in the width direction, extends outwards from the outside edges (31E) of the absorbent core in the excretion orifice contact region. The absorbent core comprises a widthwise slit (41) that extends in the width direction of the absorbent article between the excretion orifice contact region and the rear region.

(57) 要約: 着用者の股下と臀部に対して吸収コアをフィットさせ、漏れを抑制できる吸収性物品を提供する。吸収性物品(1)は、着用者の排泄口と対向する排泄口当接域(S1)と、排泄口当接域よりも後方に位置する後側域(S2)と、排泄口当接域と後側域に配置される吸収コア(31)と、を有する。後側域には、排泄口当接域の吸収コアの外側縁(31E)よりも幅方向の外側に延出するヒップフラップ(4)が設けられている。吸収コアは、排泄口当接域と後側域の間において吸収性物品の幅方向に延びる幅スリット(41)を有する。

WO 2016/104273 A1



ロツパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE,
ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV,
MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK,
SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ,
GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称： 吸収性物品

技術分野

[0001] 本発明は、生理用ナプキン等の吸収性物品に関する。

背景技術

[0002] 特許文献 1 には、排泄口当接域において肌当接面側に隆起する中高部と、中高部の幅方向の両外側において表面シートと吸収体が圧搾された防漏溝と、を有する吸収性物品が開示されている。吸収性物品の排泄口当接域は、下着の股下部に止着され、着用された状態で着用者の脚によって挟まれることによって幅方向の内側に向かう力が掛かる。特許文献 1 の吸収性物品の排泄口当接域は、幅方向の内側に向かう力が掛かると、防漏溝が着用者の股下域の肌対向面側へ折れ曲がり、これに伴って吸収体の中高部が隆起する（特許文献 1 の段落 0016 参照）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献 1：特開 2012-239722 号公報

発明の概要

[0004] しかし、上述した吸収性物品には、以下の問題点がある。

吸収体は、排泄口当接域から後方に延びているため、排泄口当接域の吸収体に変形すると、排泄口当接域の後方に位置する吸収体に変形が伝播する。そのため、排泄口当接域の吸収体が肌対向面側に隆起すると、肌対向面側に隆起した変形が後方の吸収体に伝播する。また、排泄口当接域の吸収体が非肌対向面側に隆起すると、非肌対向面側に隆起した変形が後方の吸収体に伝播する。

[0005] 着用者の陰裂（経血が出る膣口あたり）近辺の幅方向に沿った身体の断面形状は、大陰唇が大腿の付け根よりも出っ張っており、幅方向の中心が吸収体側に突出する凸形状である。そのため、排泄口当接域の吸収体が肌対向面側

に隆起すると、大陰唇に沿って吸収体が配置されない。その結果、着用者の股下と吸収性物品との間に隙間が生じ、漏れが発生することがあった。

[0006] また、排泄口当接域の吸収体は、吸収体側に突出する凸形状の大陰唇によって非肌対向面側に押され、非肌対向面側に隆起することがある。排泄口当接域の吸収体が非肌対向面側に隆起すると、非肌対向面側に隆起した変形が後方の吸収体に伝播する。着用者の臀部近傍の幅方向に沿った身体の断面形状は、左右の臀部が膨らみ、この臀部間が窪んだ形状である。よって、吸収体が非肌対向面側に隆起すると、臀部に沿って吸収体が配置されない。その結果、着用者の臀部と吸収性物品との間に隙間が生じ、漏れが発生することがあった。

[0007] 本発明は、上述の課題に鑑みてなされたものであり、着用者の股下と臀部に対して吸収コアをフィットさせ、漏れを抑制できる吸収性物品を提供することを目的とする。

[0008] 上述した課題を解決するため、本開示に係る吸収性物品（吸収性物品１）は、着用者の排泄口と対向する排泄口当接域（排泄口当接域Ｓ１）と、前記排泄口当接域よりも後方に位置する後側域（後側域Ｓ２）と、前記排泄口当接域と前記後側域に配置される吸収コア（吸収コア３１）と、を有する吸収性物品であって、前記後側域には、前記排泄口当接域の前記吸収コアの外側縁（外側縁３１Ｅ）よりも幅方向の外側に延出するヒップフラップ（ヒップフラップ４）が設けられており、前記吸収コアは、前記排泄口当接域と前記後側域の間において前記吸収性物品の幅方向に延びる幅スリット（幅スリット４１）を有することを要旨とする。

[0009] また、本開示に係る吸収性物品（吸収性物品１）は、着用者の排泄口と対向する排泄口当接域（排泄口当接域Ｓ１）と、前記排泄口当接域よりも後側に位置する後側域（後側域Ｓ２）と、前記排泄口当接域と前記後側域に配置される吸収コア（吸収コア３１）と、を有する吸収性物品であって、前記後側域には、前記排泄口当接域の前記吸収コアの外側縁（外側縁３１Ｅ）よりも幅方向の外側に延出するヒップフラップ（ヒップフラップ４）が設けられ

ており、前記吸収コアは、前記排泄口当接域の吸収コアの変形を前記後側域の吸収コアに伝播することを抑制する伝播抑制部（幅スリット41）を有することを要旨とする。

図面の簡単な説明

[0010] [図1]実施形態に係る吸収性物品の平面図である。

[図2]図1に示す吸収性物品の背面図である。

[図3]図1に示すA-A断面の模式断面図である。

[図4]図1に示す吸収性物品1の着用者に装着された状態の断面図である。

発明を実施するための形態

[0011] （1）吸収性物品の全体構成

図1乃至図3を参照して、実施形態に係る吸収性物品1の全体構成について説明する。なお、以下の図面の記載において、同一又は類似の部分には、同一又は類似の符号を付している。ただし、図面は模式的なものであり、各寸法の比率等は現実のものとは異なることに留意すべきである。したがって、具体的な寸法等は、以下の説明を参酌して判断すべきである。また、図面相互間においても互いの寸法の関係や比率が異なる部分が含まれ得る。

[0012] 図1は、吸収性物品の平面図であり、図2は、吸収性物品の背面図である。図3は、図1に示すA-A断面図である。本実施形態に係る吸収性物品1は、夜用の生理用ナプキンである。

[0013] 吸収性物品1は、着用者の前側（腹側）及び後側（背側）に延びる前後方向Lと、前後方向Lと直交する幅方向Wと、着用者の肌対向面側T1及び非肌対向面側T2に延びる厚み方向Tと、を有する。

[0014] 吸収性物品は、着用者の排泄口当接域に配置される排泄口当接域S1と、排泄口当接域S1の後側に位置する後側域S2と、排泄口当接域S1の前側に位置する前側域S3と、を有する。後側域S2の前後方向Lの長さは、排泄口当接域S1の前後方向Lの長さよりも長い。排泄口当接域S1は、下着に装着された状態で、下着の股下部に装着される領域である。排泄口当接域S1には、後述するウイングが配置される。排泄口当接域S1と後側域S2

の境界は、後述する幅スリット41である。幅スリット41の前端縁は、排泄口当接域S1の後端縁であり、幅スリット41の後端縁は、後側域S2の前端縁である。また、後側域S2の後端縁は、吸収性物品1の後端縁である。排泄口当接域S1と前側域S3の境界は、ウイング3の前端縁である。ウイング3の前端縁は、ウイング3の付け根であり、ウイング3において最も幅方向の内側に窪んだ部分のうち、前側に位置する部分である。ウイング3の前側の付け根は、排泄口当接域S1の前端縁であり、かつ前側域S3の後端縁である。また、前側域S3の前端縁は、吸収性物品1の前端縁である。図3において、排泄口当接域S1、後側域S2及び前側域S3の前後方向の範囲を示す。

[0015] 吸収性物品1は、吸収体30、吸収体30よりも肌対向面側T1に位置する肌面シート10、及び吸収体30よりも非肌対向面側T2に位置する非肌面シート20を備える。肌面シート10は、吸収体30の少なくとも幅方向中央を覆う液透過性の表面シート11と、表面シート11の外側縁（幅方向の外側端部）を覆い、幅方向の外側に延出するサイドシート12と、を有する。非肌面シート20は、液不透過性のシートである。

[0016] 表面シート11は、体液等の液体を透過する液透過性のシートである。表面シート11は、少なくとも吸収体30の表面を覆う。表面シート11は、不織布、織布、有孔プラスチックシート、メッシュシート等、液体を透過する構造のシート状の材料であれば、特に限定されない。織布や不織布の素材としては、天然繊維、化学繊維のいずれも使用できる。

[0017] サイドシート12は、表面シート11と同様の材料から選ぶことができる。但し、サイドシート12を乗り越えて吸収性物品1の外方へ経血が流れることを防止するためには、サイドシート12は、疎水性又は撥水性を有することが好ましい。サイドシート12は、吸収体30の外側縁、ウイング3及びヒップフラップ4に配置されている。

[0018] 非肌面シート20は、肌面シート10の長さと同様の長さを有する。非肌面シート20は、ポリエチレンシート、ポリプロピレン等を主体としたラ

ミネート不織布、通気性の樹脂フィルム、スパンボンド、又はスパンレース等の不織布に通気性の樹脂フィルムが接合されたシートなどを用いることができる。

[0019] 吸収体30は、吸収材料が積層された吸収コア31と、吸収コア31を覆うコアラップ32と、を有する。吸収材料は、例えば、親水性繊維、パルプ、及びSAPを例示できる。なお、本実施の形態の吸収体30は、吸収コア31の後端縁とコアラップ32の後端縁が略一致している。

[0020] 吸収コア31は、排泄口当接域S1と後側域S2に配置される。なお、吸収コア31は、排泄口当接域S1と後側域S2のそれぞれに分断された状態で配置されていてもよいし、排泄口当接域S1と後側域S2に跨って配置されていてもよい。また、吸収コア31は、少なくとも排泄口当接域S1と後側域S2に配置されていればよく、排泄口当接域S1、後側域S2及び前側域S3に配置されていてもよい。

[0021] 吸収コア31は、吸収コア31の外側縁31Eよりも幅方向の内側に位置する中高部33を有する。中高部33は、排泄口当接域S1内に位置し、排泄口当接域S1の吸収コア31の外側縁31Eよりも幅方向の内側に位置する。中高部33の厚さは、排泄口当接域S1における吸収コア31の外側縁31Eの厚さよりも厚い。中高部33の吸収材料の目付は、排泄口当接域S1における吸収コア31の外側縁31Eの吸収材料の目付よりも高い。中高部33は、排泄口当接域S1内の後側に位置し、幅スリット41に隣接している。本実施の形態の中高部33の外側縁には、吸収体30と肌面シート10が厚み方向に圧縮された圧搾部80が設けられている。

[0022] 吸収コア31は、幅スリット41、前後スリット42、及び補助スリット43を有する。吸収コア31は、幅スリット41、前後スリット42、及び補助スリット43は、吸収コア31が厚み方向Tに曲がることができるように構成されている。

[0023] 幅スリット41、前後スリット42及び補助スリット43の吸収材料の目付は、周囲の吸収コア31の吸収材料の目付よりも低い。周囲の吸収コア3

1とは、幅スリット等に隣接する領域の吸収コアであり、例えば、排泄口当接域S1において幅スリット41に隣接する吸収コア、及び後側域S2において幅スリット41に隣接する吸収コアである。なお、幅スリット41、前後スリット42及び補助スリット43は、吸収材料の目付が周囲の吸収コア31よりも低い領域であればよく、目付が0の領域であってもよいし、設計上の目付が0であるが、周囲の吸収コア31から混入した吸収材料が配置された領域であってもよい。

[0024] 本実施の形態の幅スリット41、前後スリット42、及び補助スリット43は、設計上の目付が0である。よって、厚み方向Tにおいて幅スリット41に重なる領域、前後スリット42に重なる領域、及び補助スリット43に重なる領域において、肌面シート10と非肌面シート20の間には、吸収材料が配置されていない。また、厚み方向Tにおいて幅スリット41に重なる領域、前後スリット42に重なる領域、及び補助スリット43に重なる領域において、肌面シート10と非肌面シート20とは接合されていない。

[0025] また、幅スリット41に重なる領域、前後スリット42に重なる領域、及び補助スリット43に重なる領域において、吸収コア31の肌対向面側に位置するコアラップ32と吸収コア31の非肌面側に位置するコアラップ32とは、接合されていてもよいし、接合されていなくてもよい。例えば、吸収コア31の肌対向面側に位置するコアラップ32と吸収コア31の非肌対向面側に位置するコアラップ32とが接合されている構成によれば、吸収コア31の型崩れを抑制できる。また、幅スリット41に重なる領域、前後スリット42に重なる領域、及び補助スリット43に重なる領域において、表面シート11とコアラップ32とは、接合されていてもよいし、接合されていなくてもよい。加えて、幅スリット41に重なる領域、前後スリット42に重なる領域、及び補助スリット43に重なる領域において、非肌面シート20とコアラップ32とは、接合されていてもよいし、接合されていなくてもよい。

[0026] 幅スリット41、前後スリット42及び補助スリット43は、剛性が変化

する境界となる。具体的には、例えば、幅スリット４１よりも前側の領域の剛性と、幅スリット４１よりも後側の領域の剛性と、は、異なる。より詳細には、幅スリット４１よりも前側の領域の吸収材料の目付は、幅スリット４１の吸収材料の目付よりも高い。また、幅スリット４１よりも後側の領域の吸収材料の目付は、幅スリット４１の吸収材料の目付よりも高い。

[0027] 幅スリット４１は、排泄口当接域Ｓ１と後側域Ｓ２の間において幅方向Ｗに延びる。幅スリット４１、少なくとも幅方向に延びていればよく、幅方向に平行な直線状であってもよいし、幅方向に平行でなく、幅方向に対して傾斜した直線状又は曲線状であってもよい。本実施の形態の幅スリットは、幅スリット４１の幅方向の中央が後方に突出した曲線形状である。より詳細には、幅スリット４１の幅方向の中心は、幅スリット４１の外側縁よりも後方に位置する。幅スリット４１の幅方向の中心は、後方に向かう凸状である。なお、幅スリットの前後方向における長さは、一定であってもよいし、変化していてもよい。また、幅スリットの前後方向の長さは、１０ｍｍ以上かつ５０ｍｍ以下であり、より好ましくは、幅スリットの前後方向の長さは、１０ｍｍ以上かつ３０ｍｍ以下である。

[0028] 例えば、幅スリット４１の前後方向の長さが１０ｍｍ未満の場合には、幅スリット４１の前側の動きと幅スリット４１の後側の動きとを緩衝し、又は分断する作用を十分に得ることができないことがある。また、幅スリット４１の前後方向の長さが５０ｍｍを超える場合には、幅スリット４１の前側の動きと幅スリット４１の後側の動きとを緩衝し、又は分断する作用が大きくなる一方、吸収性物品としての安心感が低減することがある。

[0029] また、幅スリット４１の幅方向の長さは、２５ｍｍ以上であることが好ましい。一般的に、夜用の生理用ナプキンの中高部３３の幅方向の長さ（目付が比較的高い部分の幅方向の長さ）は、２５ｍｍ以上３０ｍｍ以下であることが多い。例えば、中高部３３が排泄口当接域Ｓ１と後側域Ｓ２に連続して形成されていると、当該中高部によって排泄口当接域Ｓ１の動きが後側域Ｓ２に連動することがある。しかし、幅スリット４１の幅方向の長さが２５ｍ

m以上であることにより、中高部33を前後方向で分断し、排泄口当接域S1の動きが後側域S2に連動することを抑制できる。

[0030] 幅スリット41は、吸収コア31の幅方向の全域に形成されていてもよいし、吸収コアの幅方向の一部の領域に形成されていてもよい。本実施の形態の幅スリット41は、吸収コア31の幅方向全域に形成されている。幅スリット41の外側縁41Eは、吸収コア31の外側縁31Eに位置する。よって、排泄口当接域S1の吸収コア31と後側域S2の吸収コア31とは、幅スリット41によって前後方向に分断されている。なお、本実施の形態の吸収体30は、吸収コア31の外側縁と吸収体30の外側縁が略一致している。よって、図面上、幅スリット41の外側縁41Eは、吸収体30の外側縁と一致するように示す。また、幅スリット41は、排泄口当接域S1の吸収コア31の変形を後側域S2の吸収コア31に伝播することを抑制する伝播抑制部を構成する。

[0031] 前後スリット42は、後側域S2において前後方向Lに延びる。前後スリット42、少なくとも前後方向に延びていればよく、前後方向に平行な直線状であってもよいし、前後方向に平行でなく、前後方向に対して傾斜した直線状又は曲線状であってもよい。前後スリット42は、後側域S2の吸収コア31の前後方向Lの全域に形成されていてもよいし、後側域S2の吸収コア31の前後方向の一部の領域に形成されていてもよい。本実施の形態の前後スリット42は、後側域S2の吸収コアの前後方向Lの全域に形成されている。よって、後側域S2の吸収コア31は、前後スリット42によって幅方向に分断されている。

[0032] また、前後スリット42の前端縁は、ウイング3の前後方向の中心3LCから30mm後方の位置よりも後方に位置することが好ましい。また、前後スリット42の後端縁は、ウイング3の前後方向の中心3LCから200mm後方の位置よりも後方に位置することが好ましい。前後スリット42の前後方向の長さは、150mm以上であることが好ましい。着用者の身体の前後方向に沿った断面において、臀部間の溝は、会陰部を越えた辺りからはじ

まり、尾てい骨に至るまで存在する。このような前後スリット42によれば、前後スリットを頂点とした凸状の変形が臀部間の溝に配置され易くなる。

[0033] また、前後スリット42の幅方向の長さは、1mm以上かつ15mm以下である。例えば、前後スリット42の幅方向の長さが1mm未満の場合には、前後スリット42を頂点として凸状に変形した際に、前後スリットを挟んで配置された吸収コア31同士が干渉し、安定的に凸状に変形し難くなる。また、前後スリット42の幅方向の長さが15mmを超える場合には、前後スリット42を頂点とした凸状の変形部分が臀部間の隙間に配置された際に、凸状の変形部分に吸収コアが存在しないため、体液の吸収が疎かになってしまうことがある。

[0034] 後側域S2の吸収コア31は、第1領域311、第1領域311の幅方向の外側にそれぞれ位置する第2領域312及び第3領域313を有する。図1に、第1領域311、第2領域312及び第3領域313の幅方向の範囲を示す。第1領域311、第2領域312及び第3領域313は、後側域S2の吸収コア31を幅方向において3等分した領域である。第1領域311は、3等分した領域のうち幅方向中央に位置する領域である。第2領域312は、3等分した領域のうち幅方向の一方の側部に位置する領域である。第3領域313は、3等分した領域のうち幅方向の他方の側部に位置する領域である。なお、後側域S2の吸収コアの幅方向の長さが変化する構成にあっては、幅スリット41に隣接する吸収コア31を幅方向において3等分した領域とする。

[0035] 前後スリット42は、第1領域311に設けられている。前後スリット42は、吸収性物品1の幅方向Wの中心に配置されていてもよい。前後スリット42は、吸収コアが厚み方向に曲がることができるように構成されており、曲部を構成する。なお、曲部は、前後スリットのみならず、他の構成によって構成されていてもよい。例えば、曲部は、少なくとも吸収コアを厚み方向に圧搾した圧搾部によって構成されていてもよいし、吸収コアの目付が周囲と異なることによって剛性が異なる領域によって構成されていてもよいし

、凹部と凸部のかみ合わせによって成形されたエンボスによって構成されていてもよい。

[0036] 幅スリット4 1と曲部を構成する前後スリット4 2とは、連なっている。よって、平面視にて、排泄口当接域S 1の吸収コア3 1と、後側域S 2の幅方向Wの一方側の吸収コア3 1（例えば、着用者の左側に位置する吸収コア）と、後側域S 2の幅方向Wの他方側の吸収コア3 1（例えば、着用者の右側に位置する吸収コア）とは、分断されている。なお、幅スリット4 1と前後スリット4 2とは、離間していてもよい。

[0037] 補助スリット4 3は、前後スリット4 2に連なり、かつ前後スリット4 2から幅方向Wの外側に延びる。補助スリット4 3は、少なくとも幅方向に延びていればよく、幅方向に平行な直線状であってもよいし、幅方向に平行でなく、幅方向に対して傾斜した直線状又は曲線状であってもよい。補助スリット4 3は、前後スリット4 2の幅方向の両側にそれぞれ延びている。補助スリット4 3は、前後方向Lに間隔を空けて複数設けられている。補助スリット4 3は、後側域S 2の吸収コア3 1の外側縁3 1 Eよりも幅方向Wの内側に位置する。すなわち、補助スリット4 3の幅方向の外側には、吸収材料が配置されている。なお、補助スリット4 3は、後側域S 2の吸収コア3 1の外側縁3 1 Eまで延びていてもよい。補助スリット4 3は、幅方向Wの内側から幅方向Wの外側に向かうにつれて前側に延びる。

[0038] 吸収性物品1は、ウイング3と、ヒップフラップ4と、を有する。ウイング3及びヒップフラップ4は、排泄口当接域S 1の吸収コア3 1の外側縁3 1 Eよりも幅方向の外側に延出している。

[0039] ウイング3は、サイドシート1 2と、非肌面シート2 0と、を有する。ウイング3の前後方向の中心3 L Cは、着用者の排泄口に対向して配置される。ウイング3は、非肌面シート2 0側に折り返し可能に構成されており、使用時に下着のクロッチ部の非肌対向面側に折り返される。ヒップフラップ4は、ウイング3の後側に位置し、後側域S 2に設けられている。ヒップフラップ4は、使用時に下着の非肌対向面側に折り返されずに下着の肌対向面側

に配置されるように構成されている。なお、ウイング3及びヒップフラップ4には、吸収材料が配置されていてもよい。

[0040] 図2に示すように、非肌面シート20の非肌対向面には、吸収性物品を下着Sに止めるための粘着剤が塗布された粘着領域60が設けられている。粘着領域60は、吸収コア31の非肌対向面側に配置された第1本体粘着領域61及び第2本体粘着領域62と、ウイング3に配置されたウイング粘着領域63と、ヒップフラップ4に配置されたヒップフラップ粘着領域64と、を有する。

[0041] 第1本体粘着領域61は、第2本体粘着領域62と前後方向に離間しており、第2本体粘着領域62よりも前方に配置されている。第1本体粘着領域61は、幅スリット41よりも前側において、排泄口当接域S1と前側域S3に跨って配置されている。第2本体粘着領域62は、幅スリット41よりも後側において、後側域S2に配置されている。

[0042] 幅スリット41及び前後スリット42は、厚み方向Tにおいて粘着領域60に重なっていない。換言すると、平面視にて幅スリット41及び前後スリットが配置された領域には、粘着領域60が設けられていない。また、ウイング3及びヒップフラップ4には、粘着領域60が設けられている。

[0043] 粘着領域60は、使用前の状態において、剥離シート65によって覆われている。剥離シート65は、使用前に接着剤が劣化するのを防止している。剥離シート65は、使用時に着用者によって剥離される。なお、剥離シートを有しない吸収性物品においては、吸収性物品を個別に包装する包装シートによって使用前に接着領域が劣化するのを防止するように構成されていてもよい。

[0044] 本明細書における「吸収体の厚さ」の測定は、以下の測定方法によって行われるものとする。

吸収性物品1がパッケージなどに封入されている場合には、パッケージから取り出し、その状態にて20℃±2℃、相対湿度60%±5%RHの雰囲気下において12時間放置したサンプルを用いる。

[0045] 測定位置は、吸収体の幅方向中央部とする。測定する際は、吸収性物品が縮んだ状態ではなく、吸収性物品の伸縮性部材を伸張させた状態として測定する。また、吸収体以外の肌面シート及び非肌面シート等、吸収体以外の部分を取り除く。尾崎製作所（株）製のダイヤルゲージ P E A C O C K を使用し、測定子には直径 10 mm のものを採用し、大きさが 30 mm × 30 mm の試片を用意して、当該試片の厚みを測定する。測定器は、試片に対する測定圧が 3 g / c m² となるように調整する。ここで、10 サンプルに対して、それぞれの状態で上述の測定を行い、その平均値を、厚さとした。

[0046] なお、本明細書における「吸収体の目付及び密度」の測定は、以下の測定方法によって行われるものとする。

吸収性物品 1 がパッケージなどに封入されている場合には、パッケージから取り出し、その状態にて 20℃ ± 2℃、相対湿度 60% ± 5% RH の雰囲気下において 12 時間放置したサンプルを用いる。

[0047] 包装体によって包装された吸収性物品においては包装体を開封し、折り畳まれた吸収性物品を展開して、目付及び密度を測定する部分の厚み及び面積を測定する。次いで、目付及び密度を測定する部分を吸収性物品から切り出し、切り出した部分の重量を測定する。次いで、切り出した部分から表面シート及び裏面シート等、吸収体以外の部分を取り除き、吸収体の重量を測定する。吸収体の重量と、目付及び密度を測定する部分の面積とに基づいて目付を算出する。目付及び厚みに基づいて、密度を算出する。

[0048] また、本明細書における「長さ」の測定は、以下の測定方法によって行われるものとする。

吸収性物品 1 がパッケージなどに封入されている場合には、パッケージから取り出し、その状態にて 20℃ ± 2℃、相対湿度 60% ± 5% RH の雰囲気下において 12 時間放置したサンプルを用いる。

[0049] 次いで、シンワ測定株式会社製のスプリングメジャー（テープ：ガラス繊維入塩ビ被覆）を用いて、測定対象部位に沿わせるようにして、測定対象部位のこの状態の長さを測定する。ここで、10 サンプルに対して、それぞれ

の状態で上述の測定を行い、その平均値を、長さとした。

[0050] (2) 作用・効果

排泄口当接域 S 1 と後側域 S 2 の間に伝播抑制部を構成する幅スリット 4 1 が設けられているため、幅スリット 4 1 によって吸収コア 3 1 の変形が吸収コア 3 1 の前後方向全域に伝播することを抑制し、排泄口当接域 S 1 の吸収コア 3 1 と後側域 S 2 の吸収コア 3 1 とを異なる態様で変形させることができる。

[0051] 図 4 は、吸収性物品 1 が着用者に装着された状態の断面図である。図 4 (a) は、排泄口当接域 S 1 における幅方向に沿った断面図であり、図 4 (b) は、後側域 S 2 における幅方向に沿った断面図である。図 4 (a) は、図 1 の B-B 断面を基準としており、図 4 (b) は、図 1 の C-C 断面を基準としている。図 4 において、着用者の身体を示すラインを二点鎖線で示す。生理用ナプキンとしての吸収性物品 1 を着用する際は、吸収性物品を下着 S に止着し、当該下着を引き上げて着用する。一般的な生理用ナプキンの吸収コアの幅方向の寸法は、着用者の股間の幅方向の寸法よりも広く設計されている。そのため、着用された状態の吸収性物品 1 の排泄口当接域 S 1 は、装着者の両足によって挟まれ、幅方向の外側から幅方向の内側に向かう力を受ける。吸収性物品 1 は、一般的に、排泄口当接域 S 1 において着用者の身体の形状に馴染む変形をし、当該変形を後方に伝播させる。

[0052] しかし、吸収コア 3 1 の幅方向 W に沿った着用者の身体の断面形状は、股下近傍と臀部近傍とで異なる。具体的には、着用者の股下域の陰裂(経血が出る膣口あたり)近辺の幅方向に沿った身体の断面形状は、大陰唇が大腿の付け根よりも出っ張っており、吸収性物品側に突出する凸形状である。この着用者の股下域に、吸収性物品の排泄口当接域 S 1 が対向して配置される。

[0053] また、着用者の大陰唇より後方に位置する会陰部よりも後方には、肛門や臀裂が位置する。この会陰部よりも後方近辺の幅方向に沿った身体の断面形状は、幅方向の中心が窪んだ形状である。この着用者の臀部に、吸収性物品の後側域 S 2 が対向して配置される。

- [0054] 吸収性物品は、下着Sに装着され、かつ着用者に着用された状態で、排泄口当接域S1の吸収コアが大陰唇の出っ張りに押し下げられ、非肌対向面側に隆起するように変形する。着用者の股下においては、排泄口当接域S1の吸収コアが身体に沿って配置され、股下における漏れを抑制できる。
- [0055] また、排泄口当接域S1の吸収コア31の変形は、幅スリット41に至るまでの領域で後方に伝播する。排泄口当接域S1の吸収コアの変形は、幅スリット41によって分断され、後側域S2の吸収コア31に伝播し難い。後側域S2の吸収コア31は、左右の臀部によって吸収コアの側部（第2領域312及び第3領域313）及びヒップフラップ4が押し下げされる。後側域S2の吸収コア31の幅方向の中央は、吸収コア31の側部及びヒップフラップ4によって幅方向の内側に押され、着用者側に隆起し、左右の臀部間の隙間に配置される。よって、着用者の臀部においては、後側域S2の吸収コア31が身体に沿って配置され、臀部における漏れを抑制できる。
- [0056] 加えて、着用者が歩行する際は、左右の足を交互に動かす。歩行動作のときの両足の動きは、右足が前のときは、左足が後ろに位置し、右足が後ろのときは、左足が前に位置する。吸収性物品の排泄口当接域S1の幅方向の中心（陰裂近辺の経血が排泄される部分）は、右足が前のとき、前方が左側に傾斜する方向となり、左足が前のとき、前方が右側に傾斜する方向となる。
- [0057] このとき、後側域の前後方向の長さが比較的長い夜用の生理用ナプキンは、排泄口当接域S1で受けた左右の動きに伴って後側域S2が連動することとなり、脚を動きの動作（例えば、歩行動作）の度に後側域S2も左右に大きくふれる。後側域S2が左右にふれることにより、着用者の臀部を安定して包むことができず、フィット性が安定しない。しかし、排泄口当接域S1の吸収コア31の変形を幅スリット41によって後側域S2の吸収コア31に伝播し難くすることにより、後側域S2の吸収コアを安定して臀部にフィットさせ続けることができる。よって、後漏れを抑制できる。更に、後側域S2の吸収コアを安定して臀部にフィットさせ続けることにより、着用者の臀部と吸収性物品がこすれることを抑制し、皮膚のすれによる装着感の悪化を

抑制できる。

[0058] 後側域S 2の吸収コア3 1は、吸収コア3 1が厚み方向Tに曲がることのできるように構成された曲部を有していてもよい。後側域S 2の吸収コア3 1は、曲部を基点に変形し易くなる。当該曲部は、後側域S 2の吸収コア3 1の幅方向Wの中央に位置する第1領域3 1 1に設けられている。よって、後側域S 2の吸収コア3 1が幅方向W中央を基点に変形し易くなる。変形基点となる曲部が臀部間の窪みに配置され易く、より着用者の臀部に沿って吸収コア3 1を配置できる。

[0059] 幅スリット4 1と曲部は、連なっているとしてもよい。幅スリット4 1と曲部とによって、排泄口当接域S 1の吸収コア3 1、後側域S 2の左側の吸収コア3 1、及び後側域S 2の右側の吸収コア3 1がそれぞれ独立して変形し易くなる。よって、吸収コア3 1は、より柔軟に変形し、身体の複雑な凹凸に沿って配置され易くなる。

[0060] 曲部は、前後スリット4 2によって構成されていてもよい。前後スリット4 2を設けることにより、後側域S 2の吸収コア3 1を左右で別々に変形させ、また、後側域S 2の吸収コア3 1を左右で別々に身体の動きに追従させることができる。例えば、着用者が歩行する際は、左右の足を交互に動かす。この脚の動きに伴って臀部も左右交互に動く。例えば、後側域S 2の吸収コア3 1の幅方向全域が一体化して移動すると、脚の交互の動きによって後側域S 2の吸収コア3 1全体が左右に移動し、臀部におけるフィット感が安定しないことがある。

[0061] しかし、後側域S 2の吸収コア3 1が前後スリット4 2によって左右に分断されていることにより、脚の交互の動きによって、前後スリット4 2を挟んだ片方ずつの吸収コア3 1が移動する。よって、前後スリット4 2を挟んだ片方の吸収コア3 1を身体の動きに追従して移動させ、他方の吸収コア3 1を身体にフィットさせ続けることができる。

[0062] また、前後スリット4 2が後側域S 2の吸収コア3 1の全域に設けられていることにより、後側域S 2の吸収コア3 1が前後スリット4 2を基点に変

形し易くなる。前後スリット42が前後方向Lの全域に形成されているため、前後スリット42の前後方向Lの外側に吸収コア31が配置されない。よって、吸収性物品が前後スリット42を基点に変形する際に、前後スリット42の長手方向の外側に吸収コア31からなる支点が形成されず、吸収性物品1の幅方向Wに沿った断面において、吸収性物品が前後スリット42を基点に鋭角に折れ曲がることが可能となる。よって、臀部間の溝に沿って吸収性物品が配置され、より詳細には、臀部間の溝に肌面シートが配置され、臀部間の溝と吸収性物品との隙間を抑制できる。

[0063] 曲部は、厚み方向Tにおいて粘着領域60に重ならなくてもよい。曲部が厚み方向において粘着領域に重なっていないことにより、曲部の変形が下着によって過度に阻害されることを抑制し、曲部を基点に吸収コア31が変形し易くなる。

[0064] また、幅スリット41は、厚み方向Tにおいて粘着領域60に重ならなくてもよい。幅スリット41が厚み方向において粘着領域に重なっていないことにより、幅スリット41の変形が下着によって過度に阻害されることを抑制し、幅スリット41を基点に吸収コアが変形し易くなる。

[0065] ヒップフラップ4に粘着領域が設けられていてもよい。ヒップフラップ4は、下着の腰周りを覆う部分に止着される。この下着の腰周りを覆う部分は、着用者の身体的全周囲を覆うように装着される。ヒップフラップ4に粘着領域60が設けられているため、下着が着用者の腰周りを覆う力によってヒップフラップ4をより身体にフィットさせることができる。

[0066] 幅スリット41に重なる領域において、表面シート11と非肌面シート20は、接合されていなくてもよい。幅スリット41に重なる領域において表面シート11と非肌面シート20とが接合されていると、表面シート11と非肌面シート20によって吸収コア31が挟まれ、幅スリット41を基点とした吸収コア31の変形が阻害されることがある。しかし、幅スリット41に重なる領域において表面シート11と非肌面シート20とが接合されていないことにより、幅スリット41を基点とした変形が、表面シート等によっ

て過度に阻害されることを抑制し、幅スリット41を基点に吸収コア31が変形し易くなる。また、幅スリット41が設けられた領域には、表面シート11と非肌面シート20とを接合する接着剤が配置されていないため、接着剤が付される構成よりも柔らかく、より柔軟に変形できる。

[0067] 幅スリット41の外側縁41Eは、吸収コアの外側縁31Eに位置していてもよい。吸収コアの幅方向全域に亘って幅スリットを基点に変形し易くなる。また、排泄口当接域の吸収コアと後側域の吸収コアとが完全に分断されるため、一方の変形態様が他方に伝播することを効果的に抑制できる。

[0068] また、吸収性物品は、補助スリット43が設けられていてもよい。後側域S2の吸収コアには、補助スリット43によって幅方向に延びる変形基点が形成される。後側域S2の吸収コア31は、補助スリットを基点に変形でき、身体の前後方向沿った断面における身体の丸みに沿って吸収コア31を配置し易くなる。

[0069] 排泄口当接域S1は、吸収コア31の外側縁31Eよりも幅方向の内側に位置する中高部33を有していてもよい。排泄口当接域S1に中高部33が設けられていることにより、排泄口当接域S1の幅方向の中央（吸収コア31の外側縁31Eよりも幅方向の内側）において、着用者に吸収コアが密着し易くなる。よって、図4（a）に示す断面図に示すように、排泄口当接域S1における密着性を高めることができる。その結果、後側域S2における吸収性物品のフィット性と、排泄口当接域S1における吸収性物品のフィット性と、を実現できる。

[0070] （3）その他の実施形態

本実施の形態の吸収性物品は、下着に装着される夜用の生理用ナプキンであるが、他の実施形態として、おむつに装着される尿取パッド等の吸収パッドであってもよい。

[0071] また、変形例に係る吸収性物品1は、幅スリット41の外側縁41Eが吸収コア31の外側縁31Eよりも幅方向の内側に位置していてもよい。幅スリットの幅方向の外側に吸収材料が配置されるため、横漏れを防止できる。

[0072] 以上、上述の実施形態を用いて本発明について詳細に説明したが、当業者にとっては、本発明が本明細書中に説明した実施形態に限定されるものではないということは明らかである。本発明は、特許請求の範囲の記載により定まる本発明の趣旨及び範囲を逸脱することなく修正及び変更態様として実施することができる。従って、本明細書の記載は、例示説明を目的とするものであり、本発明に対して何ら制限的な意味を有するものではない。

[0073] 2014年12月24日に出願された日本国特許出願第2014-260741号の全内容が、参照により、本明細書に組み込まれる。

産業上の利用可能性

[0074] 本発明によれば、着用者の股下と臀部に対して吸収コアをフィットさせ、漏れを抑制できる吸収性物品を提供することができる。

符号の説明

- [0075] 1 : 吸収性物品
3 : ウイング
4 : ヒップフラップ
10 : 肌面シート
11 : 表面シート
12 : サイドシート
20 : 非肌面シート
30 : 吸収体
31 : 吸収コア
31E : 排泄口当接域の吸収コアの外側縁
311 : 第1領域
312 : 第2領域
313 : 第3領域
32 : コアラップ
41 : 幅スリット（伝播抑制部）
42 : 前後スリット（曲部）

4 3	: 補助スリット
6 0	: 粘着領域
6 1	: 第 1 本体粘着領域
6 2	: 第 2 本体粘着領域
6 3	: ウイング粘着領域
6 4	: ヒップフラップ粘着領域
L	: 前後方向
T	: 厚み方向
T 1	: 肌対向面側
T 2	: 非肌対向面側
W	: 幅方向
S 1	: 排泄口当接域
S 2	: 後側域
S 3	: 前側域

請求の範囲

- [請求項1] 着用者の排泄口と対向する排泄口当接域と、
前記排泄口当接域の後側に位置する後側域と、
前記排泄口当接域と前記後側域に配置される吸収コアと、を有する吸収性物品であって、
前記後側域には、前記排泄口当接域の前記吸収コアの外側縁よりも幅方向の外側に延出するヒップフラップが設けられており、
前記吸収コアは、前記排泄口当接域と前記後側域の間において前記吸収性物品の幅方向に延びる幅スリットを有する、吸収性物品。
- [請求項2] 前記後側域の吸収コアは、第1領域、前記第1領域の幅方向の外側にそれぞれ位置する第2領域及び第3領域を有し、
前記後側域の吸収コアは、前記第1領域において前記吸収性物品の前後方向に延び、かつ前記吸収コアが厚み方向に曲がることのできるように構成された曲部を有する、請求項1に記載の吸収性物品。
- [請求項3] 前記幅スリットと前記曲部は、連なっている、請求項2に記載の吸収性物品。
- [請求項4] 前記曲部は、前記吸収性物品の前後方向に延びる前後スリットである、請求項2又は請求項3に記載の吸収性物品。
- [請求項5] 前記吸収コアよりも非肌対向面側に位置する非肌面シートを備え、
前記非肌面シートの非肌対向面には、前記吸収性物品を下着に止めるための粘着剤が塗布された粘着領域が設けられており、
前記曲部は、厚み方向において前記粘着領域に重なっていない、請求項2から請求項4のいずれかに記載の吸収性物品。
- [請求項6] 前記ヒップフラップには、前記粘着領域が設けられている、請求項5に記載の吸収性物品。
- [請求項7] 前記吸収コアよりも肌対向面側に位置する肌面シートと、
前記吸収コアよりも非肌対向面側に位置する非肌面シートと、を備え、

厚み方向において前記幅スリットに重なる領域において、前記肌面シートと前記非肌面シートは、接合されていない、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の吸収性物品。

[請求項 8] 前記幅スリットの外側縁は、前記吸収コアの外側縁よりも幅方向の内側に位置する、請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の吸収性物品。

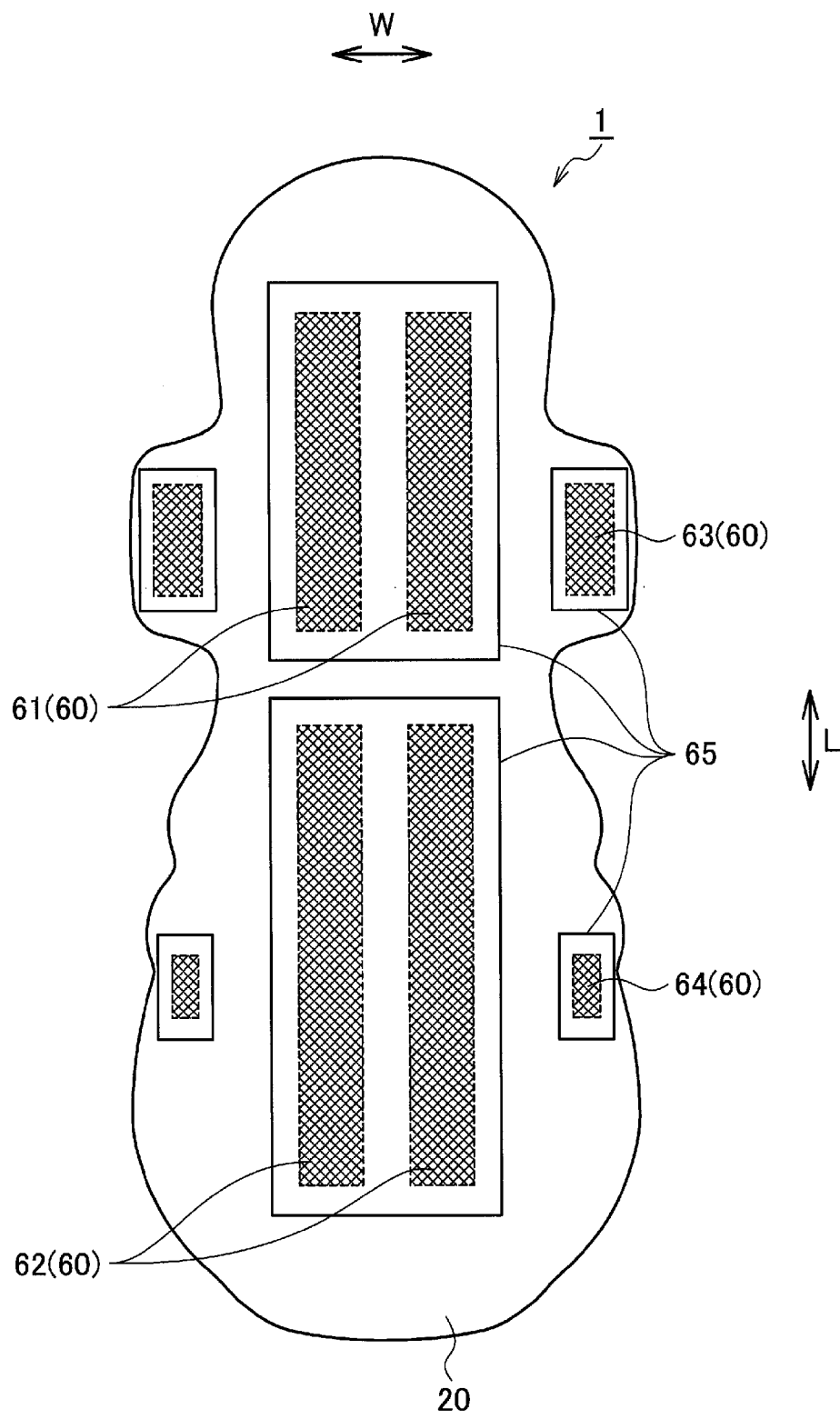
[請求項 9] 前記幅スリットの外側縁は、前記吸収コアの外側縁に位置する、請求項 1 から請求項 7 のいずれかに記載の吸収性物品。

[請求項 10] 前記排泄口当接域は、前記吸収コアの外側縁よりも幅方向の内側に位置する中高部を有し、

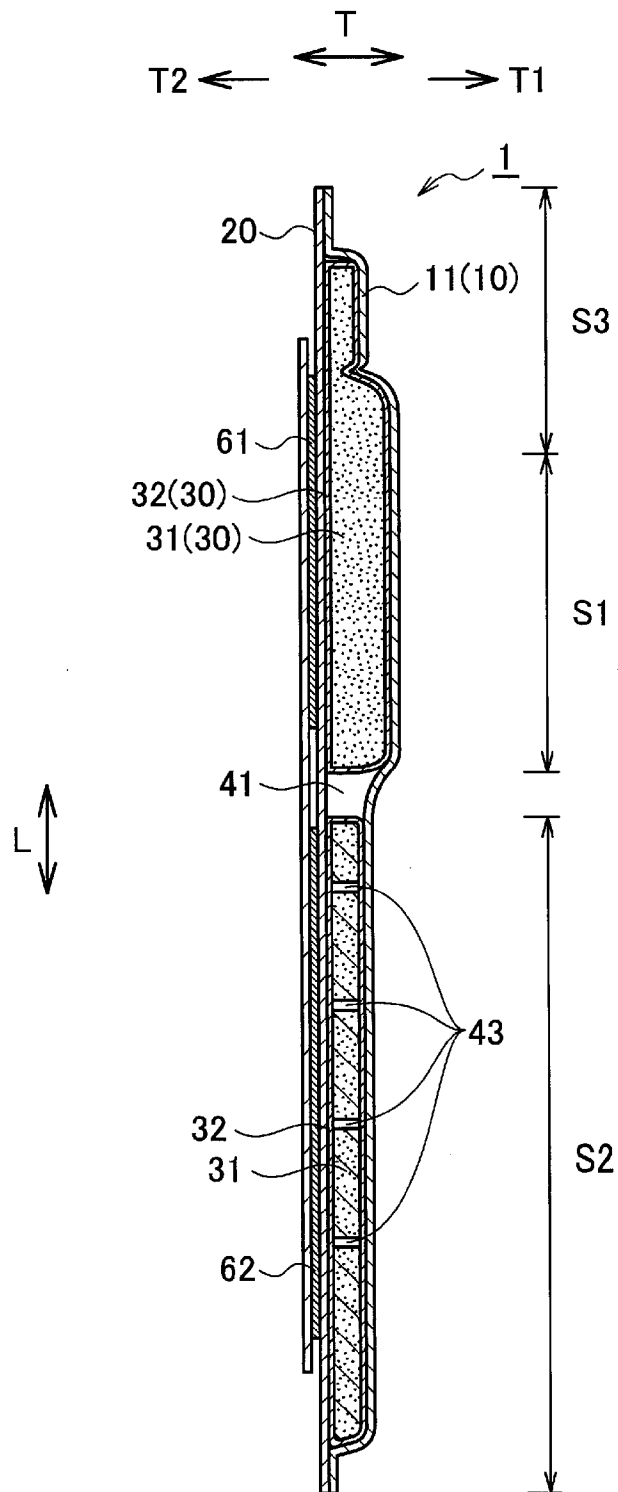
前記中高部の厚みは、前記排泄口当接域における前記吸収コアの外側縁の厚みよりも厚い、請求項 1 から請求項 9 のいずれかに記載の吸収性物品。

[請求項 11] 着用者の排泄口と対向する排泄口当接域と、
前記排泄口当接域よりも後方に位置する後側域と、
前記排泄口当接域と前記後側域に跨って配置される吸収コアと、を有する吸収性物品であって、
前記後側域には、前記排泄口当接域の前記吸収コアの外側縁よりも幅方向の外側に延出するヒップフラップが設けられており、
前記吸収コアは、前記排泄口当接域の吸収コアの変形を前記後側域の吸収コアに伝播することを抑制する伝播抑制部を有する、吸収性物品。

[図2]

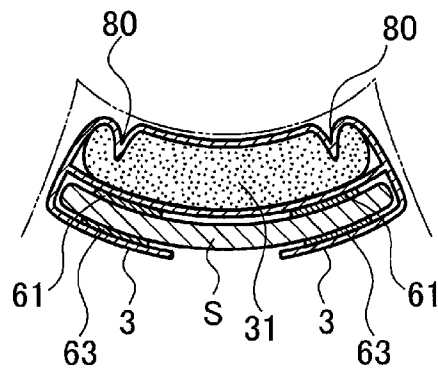


[図3]

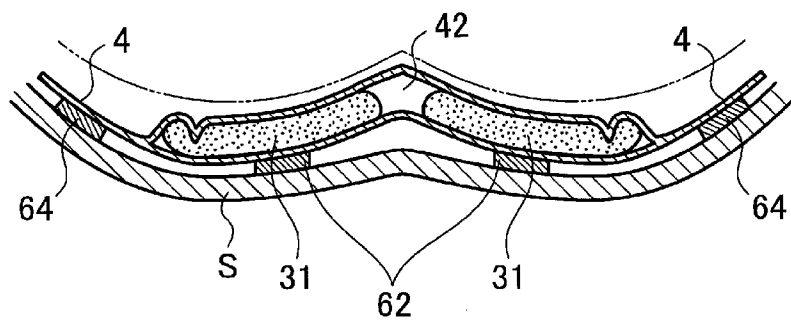


[図4]

(a)



(b)



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/085188

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A61F13/15(2006.01)i, A61F13/472(2006.01)i, A61F13/53(2006.01)i, A61F13/56(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A61F13/00, 13/15-13/84

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2012-95685 A (Daio Paper Corp.), 24 May 2012 (24.05.2012), paragraphs [0026], [0031], [0034], [0038] to [0040], [0045], [0051]; fig. 1, 2, 4, 7 to 10 & WO 2012/057332 A1	1-3, 5-8, 10, 11 4, 9
Y	JP 6-503249 A (The Procter & Gamble Co.), 14 April 1994 (14.04.1994), page 4, upper left column, lines 6 to 15; page 6, upper right column, line 10 to page 8, upper left column, last line; fig. 1 to 5 & US 5484430 A column 3, lines 19 to 28; column 6, line 50 to column 9, line 26; fig. 1 to 5 & WO 1992/010984 A1 & CN 1063217 A	1-11

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
12 February 2016 (12.02.16)

Date of mailing of the international search report
23 February 2016 (23.02.16)

Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2015/085188

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	JP 2014-104094 A (Kao Corp.), 09 June 2014 (09.06.2014), (Family: none)	1-11

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/15(2006.01)i, A61F13/472(2006.01)i, A61F13/53(2006.01)i, A61F13/56(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC））

Int.Cl. A61F13/00, 13/15-13/84

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1922-1996年
日本国公開実用新案公報	1971-2016年
日本国実用新案登録公報	1996-2016年
日本国登録実用新案公報	1994-2016年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X	JP 2012-95685 A（大王製紙株式会社） 2012.05.24, 段落[0026], [0031], [0034], [0038]-[0040],	1-3, 5-8, 10,
Y	[0045], [0051], 図 1, 2, 4, 7-10 & WO 2012/057332 A1	11 4, 9

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

12.02.2016

国際調査報告の発送日

23.02.2016

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（ISA/J P）
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

北村 龍平

3B

3323

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 6-503249 A (ザ、プロクター、エンド、ギャンブル、カンパニー) 1994. 04. 14, 第 4 頁左上欄第 6-15 行, 第 6 頁右上欄第 10 行-第 8 頁左上欄最終行, 図 1-5 & US 5484430 A, 第 3 欄第 19-28 行, 第 6 欄第 50 行-第 9 欄第 26 行, 図 1-5 & WO 1992/010984 A1 & CN 1063217 A	1-11
A	JP 2014-104094 A (花王株式会社) 2014. 06. 09, (ファミリーなし)	1-11